

取付説明書

MAZDA RX - 8

13B-MSP スタンダードパワー 4AT



[1]安全上のご注意

はじめに

- ・ この製品についての説明には、製品を使用する際と、自動車に装着する際の注意事項 が詳しく記載してあります。良くお読みになって、正しくお使いください。
- ・ 装着車両に、この製品システム以外の製品装着や改造を行った場合に発生する不具合 に関して、弊社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- ・ お客様ご本人または第三者の方が、この製品および付属品の誤った使用や、その使用中に生じた故障、その他の不具合によって受けられた障害については、弊社は一切その責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- · この製品および付属品は、改良のため予告なく変更する事があります。
- ・ キットの構成部品はパーツリストに記載してあります。取り付け前に異品・欠品の無いことを確認してください。

警告

この表示を無視して、誤った取り扱い・作業を行うと、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される危険の状況を示します。

- 換気の良い場所で取り付け作業を行ってください。換気の悪い場所で作業を行うと、爆発・火災の原因となります。
- バッテリーのマイナス端子をはずしてから、取り付け作業を行ってください。配線のショートなどによる火災、電装部品の破損、焼損の原因となります。
- ・ コネクタを外す場合、ハーネスを引っ張らず、必ずコネクタを持って取り外してください。 ショートなどによる火災、電装部品の破損、焼損の原因となります。
- · この製品に異音・異臭などの異常が生じた場合には、製品の使用をすみやかに中止し、 販売店または弊社までお問い合わせください。
 - そのまま使用すると、感電や火災、電装部品の破損の原因となります。
- ・ この製品の取り付け時に、エンジンルーム内の電気配線や配管類を傷つけないよう注意してください。
 - ショートなどによる火災、電装部品・エンジン・車両の破損の原因となります。
- ・ 部品交換は自動車が不安定な状態で作業すると危険です。必ず自動車作業専用リフト を使用して、安全に作業してください。
 - 【二柱式リフトをお勧めします】
 - やむをえずガレージジャッキを使用する場合は、必ずリジットラック(馬、安全スタンド)を 併用して安全に作業してください。車載ジャッキでの作業は危険なので絶対に行わない でください。
- ・ エンジン始動中はコンプレッサープーリー、Vベルトが常に回転しています。衣類、手、髪 の毛等を巻き込まれないように十分注意してください。

注意

この表示を無視して、誤った取り扱い・作業を行うと、人が軽傷また中程度の傷害を 負う可能性が想定される危険な状況および物質損害の発生のみが想定される状況 を示します。

- · この製品の取り付けは、必ず専門業者に依頼してください。 取り付けには専門の知識と技術が必要です。
- · この製品を装着前に落下させたり、装着時に無理な力を加えないでください。 作動不良や空気漏れの原因になる場合があります。
- ・ この製品の加工・分解・改造は行わないでください。 事故、火災、感電、電装部品の破損、焼損の原因となります。
- ・ この製品の取扱いは慎重に行ってください。落したり強いショックを与えないでください。 事故、火災、感電、電装部品の破損、焼損の原因となります。
- エンジンルーム内の温度が下がってから、作業をはじめてください。エンジン本体、ラジエター、排気関係の部品は高温になり、火傷の恐れがあります。
- ・ 定期的に点検を実施し、十分に注意してご使用ください。 この製品は耐久性を考慮して、厳選された材料を使用し、厳重な社内品質管理のもとに 製造されていますが、車両の使用条件などにより耐久性が落ちたりする事があります。
- ・ 取り付け作業のために一時的に取り外す純正部品は、破損・紛失しないように大切に保管してください。
 - 当社は取り付け作業による物的損害の責任を負うことはできませんので、慎重に作業を行ってください。
- ・ ボルト・ナット類は、適当な工具で確実に締め付けてください。 必要以上に締め付けを行うと、ボルトのネジ部が破損します。

重要事項

- ・ この製品はノーマル車輌を基準に製作されています。 ノーマル車輌以外に取り付けた場合は、製品の機能・性能及び安全性・耐久性について 保証いたしかねます。
- 製品装着時は、異物が混入しないよう、十分に注意をしてください。異物等が混入すると最悪の場合エンジン破損の原因になる場合があります。
- ・ 純正部品の取り付け、取り外しの作業はメーカー発行の整備要領書をよく読んでからおこなってください。
 - 整備要領書がお手元にない場合はメーカーにてご購入ください。
- 走行前には、オイル・冷却水・排気ガス等の漏れがないか点検を行ってください。漏れのある状態での走行は、車輌火災やエンジン破損等の恐れがあり危険です。
- ・ このキットはハイオクガソリン指定となります。 レギュ-ラーガソリンを使用しますとノッキング等を発生させ、最悪の場合エンジン破損の 原因になる場合がありますので、必ずハイオクガソリンを使用してください。
- ・ 本キットを取り付ける際は必ず点火プラグを熱価の高いものに交換してください。
- ・ 本キット内部品の加工・分解・改造は絶対に行わないでください。 場合によっては燃調(セッティング)が変わってしまい、最悪の場合、エンジン破損の原 因になる場合があります。
- ・ 弊社剥き出しタイプのエアクリーナーの取り付けは絶対に行わないでください。 燃調(セッティング)が変わってしまい、最悪の場合、エンジン破損の原因になる場合が あります。
- ・ ブースト圧は規定値以上には絶対に上げないでください。 ブースト圧を規定値以上に上げるとエンジン不調、エンジン破損の原因になる場合があります。
- ・ 本キットを取り付けた際にはボンネットインシュレーターの一部とキット部品(アウトレットチャンバー)が若干、干渉してしまう場合があります。
- ・ ボンネット本体とは干渉・接触はしませんが気になる場合はボンネットインシュレーターの加工もしくは取り外しをおこなってください。

【作業者の方へお願い】

作業が終了しましたら、本取り扱い説明書は必ずお客様に返却してください。

作業にとりかかる前に必ず下記の点を点検してください。

純正のホースやバンド等の部品に変形、割れ、ひび等の劣化が生じていたら純正品の新品に 交換してください。

[2]適合車種

製品名称: BLITZ COMPRESSOR SYSTEM

車 名: MAZDA RX-8

型 式: SE3P

E/G型式: 13B-MSP ハイパワー 年 式: 2003 年 4 月 ~

ミッション: 6MT 製品番号: 10151

車 名: MAZDA RX-8

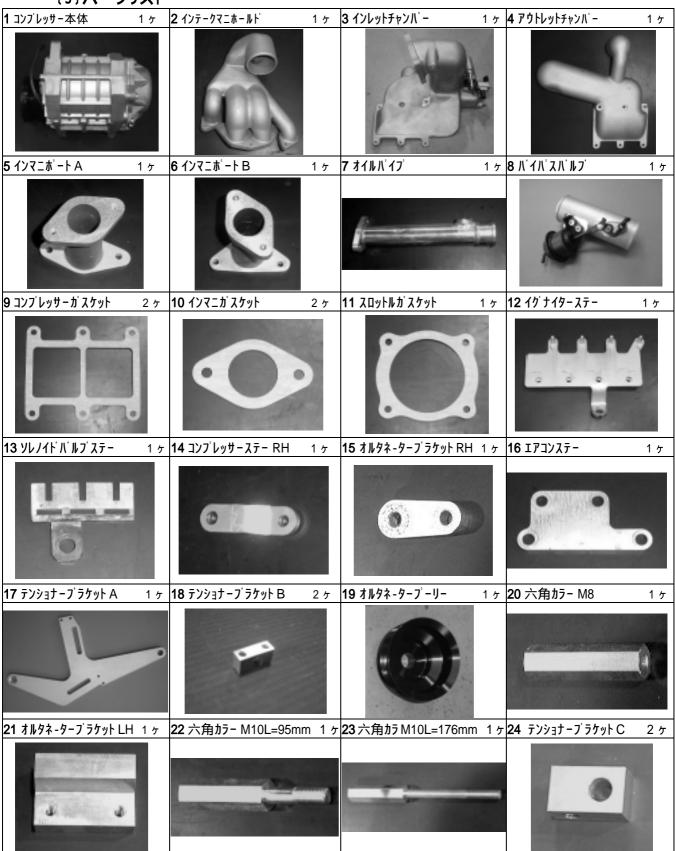
型 式: SE3P

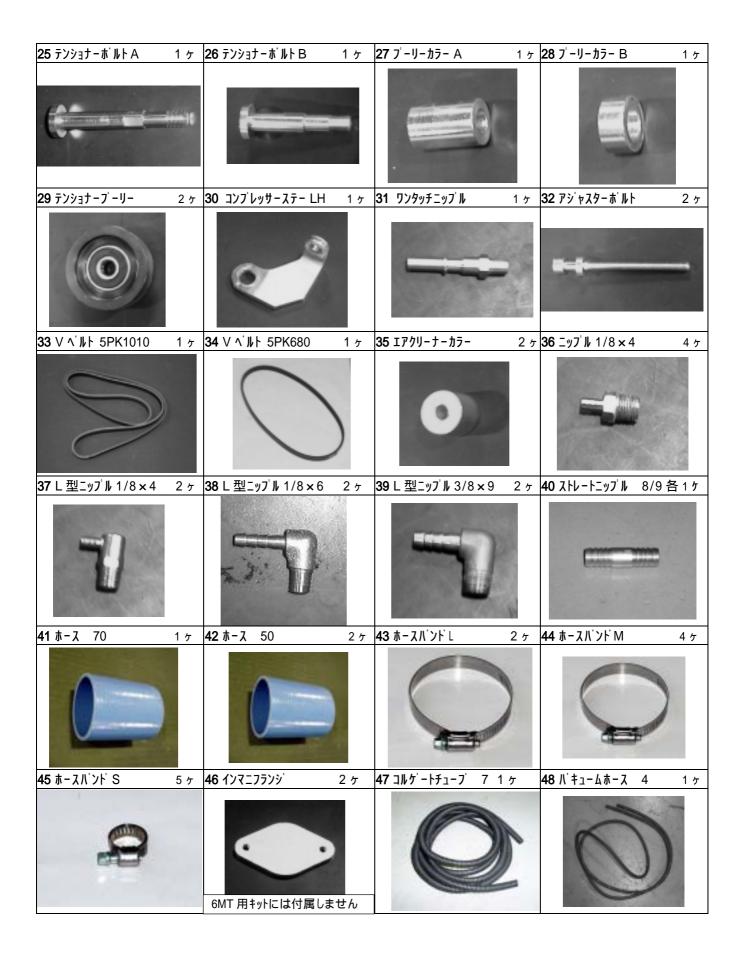
E/G型式: 13B-MSP スタンダードルワー

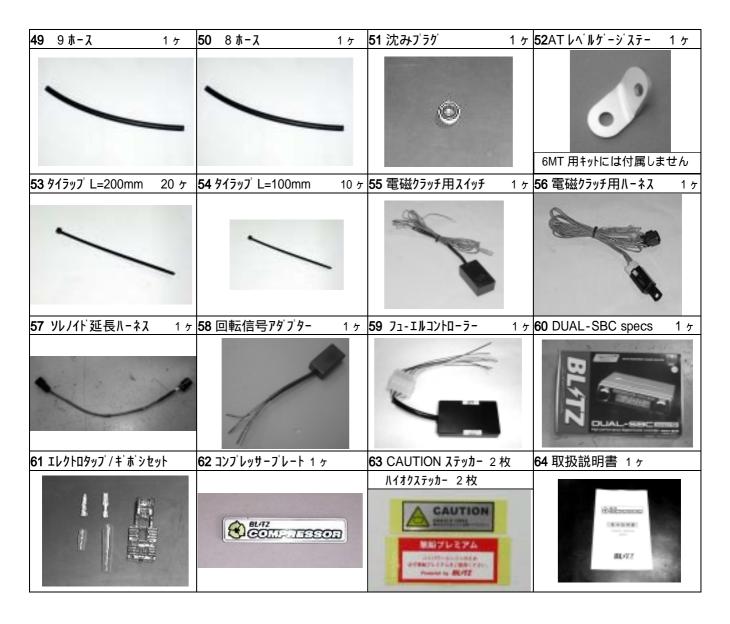
年 式: 2003年4月~

ミッション: 4AT 製品番号: 10162

〔3〕パーツリスト

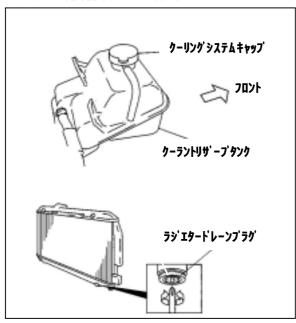






а	フランシ 付六角 ボル ト M6 × 16	9 7	b	フランシ 付六角 ポルト M6 × 25	8 ታ	С	フランシ 付六角 ポルト M8 × 20	4 ታ	d	フランシ 付六角 ポルト M8×30	2 ታ
е	キャップ ホ ルト M10 × 15	1 ታ	f	フランシ [・] 付六角ボルト M10×35	2 ታ	g	キャップ ホ ルト M6 × 25	5 ታ	h	キャップ ホ ルト M6 × 40	3 ታ
i	キャップ ホ ルト M6 × 60	2 ታ	j	キャップ ホ ルト M10 × 30	1 ታ	k	スタッド ホ ルト M6	7 ታ	I	フランシ 付六角ナット M6	8 ታ
m	フランジ 付六角ナット M10	4 ታ	n	ワッシャ - M6	2 ታ	o	ፓ ჟシャ - M10	1 ታ			

[4]純正部品取り外し作業



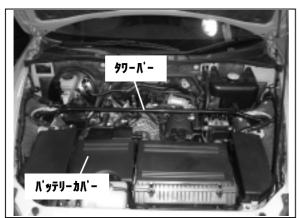
(1)冷却水抜き取りクーリングシステムキャップを取り外す。ラジエタードレーンプラグを緩めて冷却水を 抜き取る。

警告

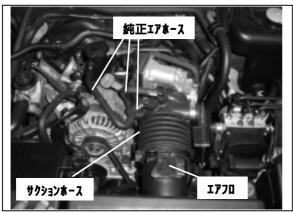
停止直後のエンジンは高温で火傷のおそれがあるため、作業はエンジン冷却後におこなう 冷却水を完全に抜き取った後、ラジエタードレンプラグを締め付ける。



(2) エンジンカバーを取り外す。

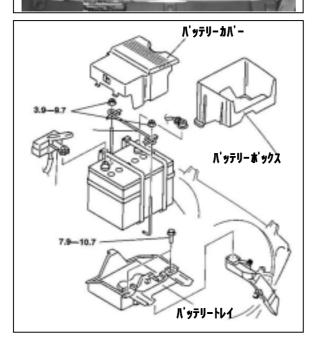


- (3)タワーバーを取り外す。
- (4) バッテリーカバーを取り外す。

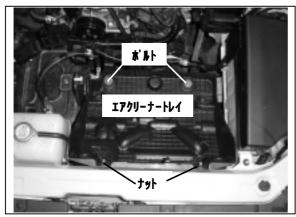




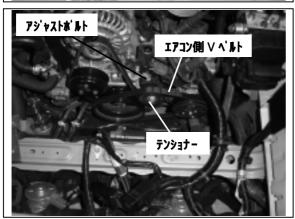
- (5)図中の純正エアホース類をサクションホースより抜き取る。
- (6)エアフロのカプラーを取り外す。
- (7) サクションホース及びエアクリーナーボックスを取り外す。



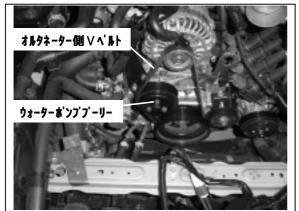
- (8) バッテリーを取り外す。
- (9) バッテリーボックスを取り外す。
- (10)ボルト3ヶを取り外し、バッテリートレイを 取り外す。



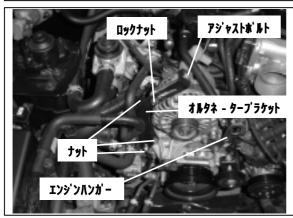
(11)ボルト2ヶ、ナット2ヶを取り外し、エアクリーナートレイを取り外す。



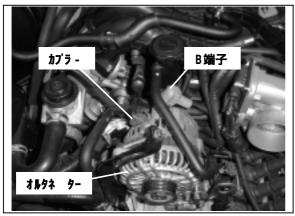
(12)テンショナー部センターナットを緩め、ア ジャストボルトを緩めてエアコン側 V ベルト を取り外す。



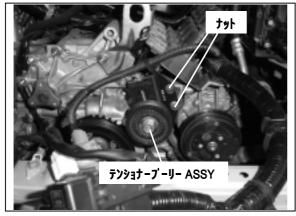
- (13)オルタネ ター側 V ベルトのテンションを かけた状態のまま、ウォーターポンププー リーのボルト(3ヶ)を緩める。
 - ベルトのテンションを緩めてしまうとボルトが 緩められなくなります。
- (14)下図中のロックナットを緩め、アジャストボルトを緩めてオルタネ ター側 V ベルトを取り外す。
- (15)ボルト3ヶを取り外し、ウォーターポンプ プーリーを取り外す。



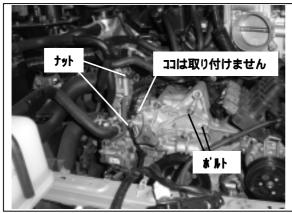
- (16)ナット3ヶを取り外し、オルタネーターブラ ケットを取り外す。
- (17)ボルト2ヶを取り外し、エンジンハンガーを取り外す。



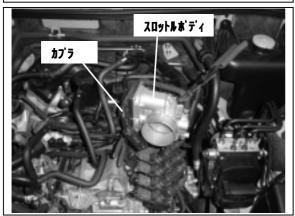
(18)カプラー、B端子を取り外しオルタネータ ーをエンジンより取り外す。



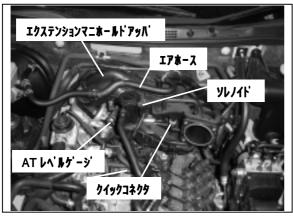
(19)ナット2ヶを取り外し、テンショナープーリ -ASSYをエンジンより取り外す。



- (20) 先程取り外したオルタネーターブラケット 部分のナット2ヶを取り付ける。 オルタネーターブラケットはナット3ヶで取 り付けされていましたが、1ヶ所は今は取 り付けしません。
- (21) 先程取り外したエンジンハンガー部分の ボルト2ヶを取り付ける。 締め付けトルク 25.0 N·m



(22)カプラー、ウォーターホース(2本)を取り 外し、スロットルボディを取り外す。



- (23)エクステンションマニホールドアッパのエアホース、ソレノイドカプラー、ATレベルゲージ部のボルト(AT車両のみ)、クイックコネクタを取り外す。
- (24)エクステンションマニホールドアッパをエ ンジンより取り外す。

ハイパワーエンジンはエクステンションマニホールドロア(樹脂部品)も一緒に取り外してくださ

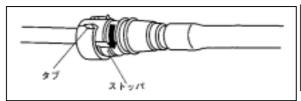
クイックコネクタ取り外し

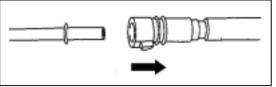
注意クイックコネクタのタブを回転させ過ぎるとコネクタを損傷する恐れがあります。タブをストッパ 位置を越えて回転させないでください。

クイックコネクタのタブをストッパ位置まで回転させる。

ホースを相手側パイプから水平に引き出し切り離す

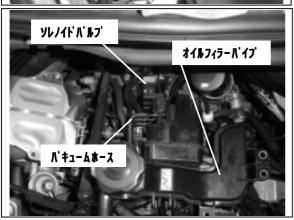
ホースをパイプ側へ押し当てることによりロックが外れホースの取り外しが可能になります。







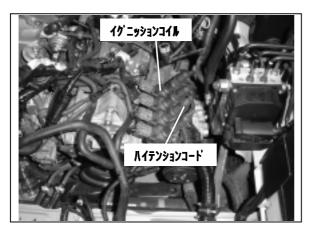




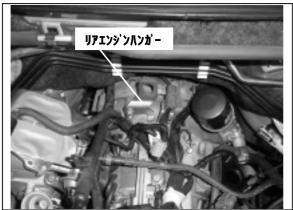
(25)オイルフィラーパイプ部分のソレノイドバルブ(3ヶ)からカプラー、バキュームホースを取り外す。

各ソレノイドバルブがどこのアクチュエーターに接続されているかが後でわかるようにマーキングをしてください。

(26)ナット2ヶを取り外し、オイルフィラーパイ プを取り外す。



- (27)イグニッションコイルからカプラー、ハイ テンションコードを取り外す。
 - 後でイグニッションコイルを移動します。カ プラーとハイテンションコードの接続がわか るようにマーキングをしてください。
- (28)イグニッションコイルをイグニッションコイ ルステーより取り外す。
- (29)イグニッションコイルステーをエンジンより取り外す。



(30)リアエンジンハンガーを取り外す。



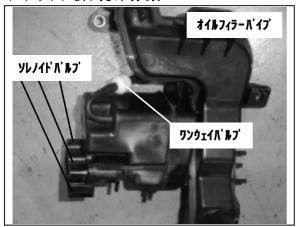
(31)AT車両の場合

ATレベルゲージガイドが図の位置を通るように曲げ加工をおこなう。

注意

パイプの潰れ、折れ等に十分注意して加工してください。

〔5〕キット取り付け作業



(1)純正オイルフィラーパイプよりソレノイドバルブ(3ヶ)、ワンウェイバルブを取り外す。

注意

| |ソレノイドバルブの勘合部分を破損しないよう | 十分注意して作業して〈ださい。



- (2)取り外したソレノイドバルブ3ヶを**13**ソレノ イドバルブステーに取り付ける。
- (3)**48**バキュームホース 3を400mm(3 本)にカットする。
- (4)カットしたバキュームホースを図のパイプ 側に差し込む。



(5)ソレノイドバルブASSYをeボルトM10× 15、o ワッシャーM10 で図の位置に取り 付ける。

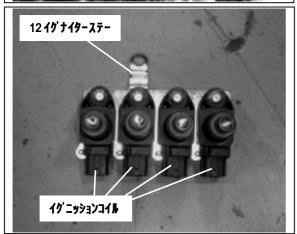
締め付けトルク 25.0N·m



- (6) 各ソレノイドバルブにカプラーを接続する。
- (7)**48**バキュームホース 3を使用し、各ソレ ノイドバルブと各アクチュエーターを配管す る。

取り外しの際に行ったマーキング通りに配管してください。

バキュームホースは適当な長さにカットし て配管して〈ださい。



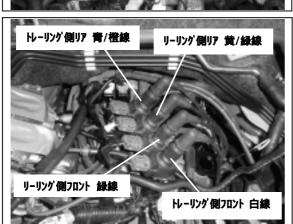
(8) イグニッションコイルを**12**イグナイターステーに**b**ボルトM6×25(4 $_{\tau}$)で取り付ける。

締め付けトルク 9.8N·m

(9)図の位置の純正ボルトを取り外し、イグニッションコイルASSYをcフランジボルトM8×20で仮付けする。

イグニッションASSYが後で動かせるよう 仮付けしてください。



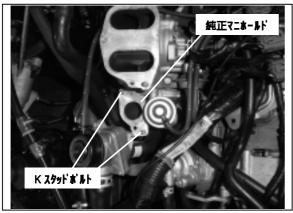


(10)各イグニッションコイルにハイテンション コード、カプラーを取り付ける。

取り外しの際に行ったマーキング通りに接続してください。

ハイテンションコードに無理がかからないよう注意して〈ださい。

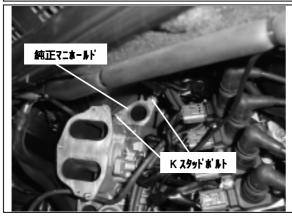
無理がかかってしまう場合はイグニッションコイルの順番を入れ替えてください。

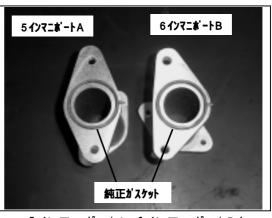


(11) 2インテークマニホールド取り付け作業 ハイパワーエンジンの場合

純正マニホールドにkスタッドボルト(4ヶ) を取り付ける。

P12(24)で取り外したエクステンションマニホールドロアより図のガスケット2ヶを取り外し、**5**インマニポートA、**6**インマニポートBに取り付ける。

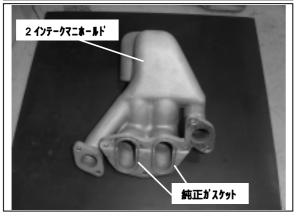




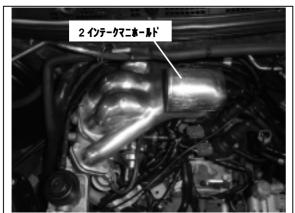


5インマニポートA、**6**インマニポートBを I M6ナット(4ヶ)で仮付けする。 図の位置にkスタッドボルト(3ヶ)を取り付

ける。



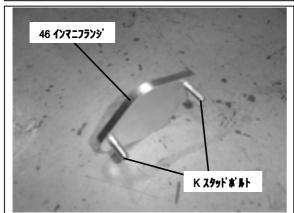
P12(24)で取り外したエクステンションマニホールドアッパより図のガスケット2ヶを取り外し、**2**インテークマニホールドに取り付ける。



2インテークマニホールドを10インマニガス ケット(2r)、**b**ボルト M6 × 25(4r)、1 M6 ナット(3ヶ)で取り付ける。

先程仮付けした M6ナット(4ヶ)も忘れずに 本締めしてください。

締め付けトルク 10.0N·m



スタンダードパワーエンジンの場合

46インマニフランジ(2ヶ)にkスタッドボル ト(4ヶ)を取り付ける。

P12(24)で取り外したエクステンションマ ニホールドアッパより図のガスケット2ヶを 取り外し、2インテークマニホールドに取り 付ける。

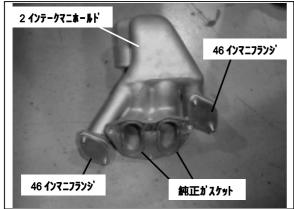
46インマニフランジ(2ヶ)を**10**インマニガ スケット(2ヶ)、1 M6ナット(4ヶ)で取り付 ける。

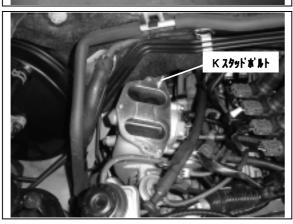
締め付けトルク 10.0N·m

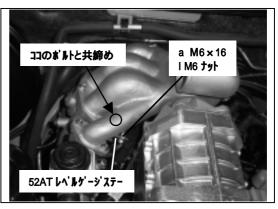
図の位置にkスタッドボルト1ヶを取り付け る。

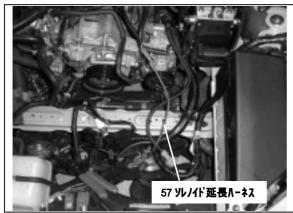
2インテークマニホールド、52AT レベル ゲージステーをaボルトM6×16、bボルト M6×25(2ヶ)、1 M6ナット(2ヶ)で取り付 ける。

締め付けトルク 10.0N·m

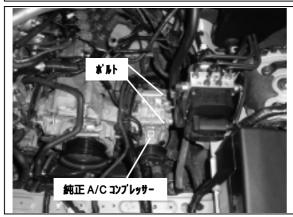








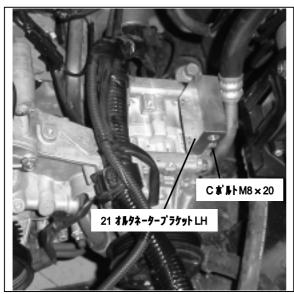
(12)純正のソレノイドバルブカプラーに**57**ソレノイド延長ハーネスを取り付ける。



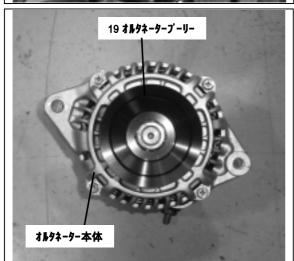
(13)図の純正A / Cコンプレッサー部のボルト(2ヶ)を取り外す。



(14)**16**エアコンステーを純正ボルト(2ヶ)で 仮付けする。 エアコンステーの向きに注意してください。



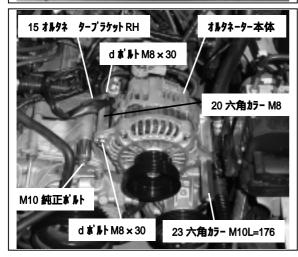
(15)**21**オルタネーターブラケットLHをcボルトM8×20(2ヶ)で仮付けする。



(16)純正のオルタネータープーリーを取り外し、19オルタネータープーリーに付け替える。

ネジロック剤を塗布して取り付けして〈ださい。

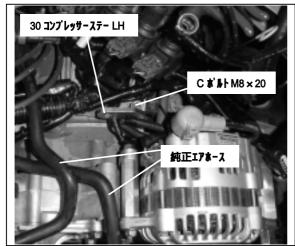
締め付けトルク 100.0N·m



(17)オルタネーター本体、**15**オルタネーター ブラケットRHをM10純正ボルト、**20**六角カ ラーM8、**23**六角カラーM10L=176、**d**ボ ルトM8×30(2ヶ)で仮付けする。

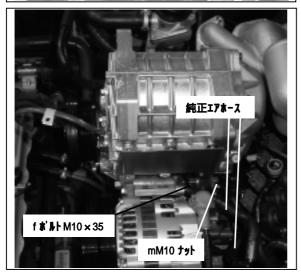
M 1 0 純正ボルト部分に **2 7** プーリーカラー Aを使用して仮付けして〈ださい。

(18)オルタネーターのカプラー、B端子を取り 付ける。



(19)図位置の純正ボルトを取り外し、**30**コン プレッサーステーLHをcボルトM8×20で 仮付けする。





(20) 1コンプレッサー本体、14コンプレッサーステーRHを22六角カラーM10L=95、fボルトM10×35、mM10ナット(2ヶ)、純正M8ナットで取り付ける。

P19(17)取り付け時に使用した**27**プーリーカラーAを取り外して純正M10ボルトで締め付けてください。

締め付けトルク M8ボルト 25.0N·m

締め付けトルク M10ボルト 35.0N·m

P9(5)で取り外したサクションホース部純正エアホース(2本)、スロットルポジションセンサーカプラーはコンプレッサー本体の下側より車両左側へ通してください。

注意ホースがつぶれないよう注意して〈ださ

P11(22)で取り外したスロットルボディ部 ウォーターホース(エンジン後ろ側)はコンプレッサー本体後方より車両左側へ通しておいてください。

(21) P18(14)で仮付けした**16**エアコンステー部分の純正ボルト、P19(15)で仮付けした**21オル**タネーターブラケットLH部分のボルト、P19(17)で仮付けしたボルト類、P20(19)で仮付けしたボルトを本締めする。

各部分の位置を調整しながら本締めして 〈ださい。

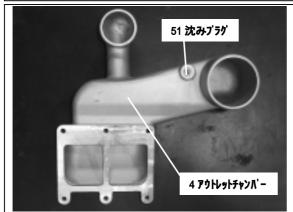
締め付けトルク M8ボルト 25.0N·m

締め付けトルク M10ボルト 35.0N·m

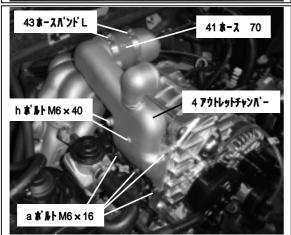


(22)P15(9)で仮付けしたイグニッションコイ ルASSYを本締めする。 周辺部品とのクリアランスに注意して本締 めしてください。

締め付けトルク 25.0N·m

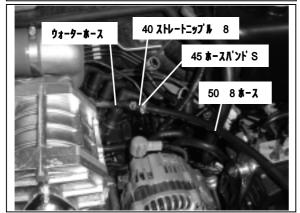


(23)4アウトレットチャンバーに51沈みプラグ を取り付ける。

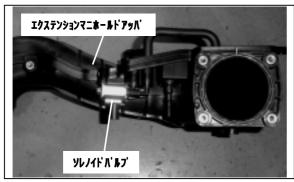


(24)**4**アウトレットチャンバーを**41**ホース 7 0、43ホースバンドL(2r)、9コンプレッ サーガスケット、aボルト $M6 \times 16(4 \circ)$ 、 hボルトM6×40(2ヶ)で取り付ける。

締め付けトルク 9.8N·m

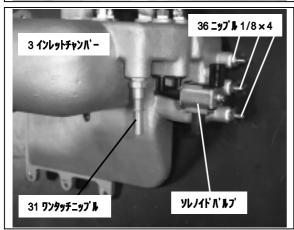


(25)図のウォーターホースを50 8ホース、 40ストレートニップル 8、45ホースバン ドSで延長する。

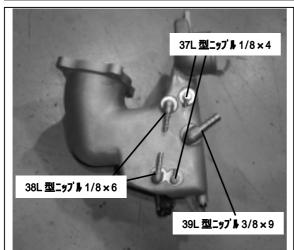


(26) P12(24)で取り外したエクステンション マニホールドアッパから図のソレノイドバ ルブを取り外す。

ゴムキャップ(2ヶ)も取り外してください。 注意パイプ部分を破損しないよう十分注意し て取り外してください。

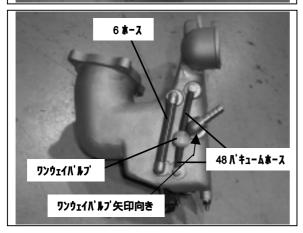


(27) **3**インレットチャンバーに取り外したソレノイドバルブ、**31**ワンタッチニップル、**36**ニップル1 / 8 × 4 (3ヶ)を取り付ける。取り外したゴムキャップ(2ヶ)をインレットチャンバー穴部分に差込み、ソレノイドバルブを取り付けてください。ニップルにはシール剤もしくはシールテープを使用して取り付けしてください。



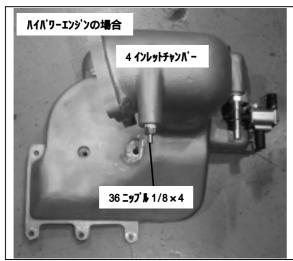
(28) **3**インレットチャンバーに**37**L型ニップル 1/8×4(2ヶ)、**38**L型ニップル1/8× 6(2ヶ)、**39**L型ニップル3/8×9を取り 付ける。

シール剤もしくはシールテープを使用して取り付けしてください。



(29) P14(1)で取り外したワンウェイバルブ、 **59** DUAL - SBC付属の 6ホース、**48** バキュームホースを使用して図のように 配管する。

ワンウェイバルブの矢印の向きに注意して〈ださい。



(30)ニップルまたは沈みプラグ取り付け ハイパワーエンジンの場合

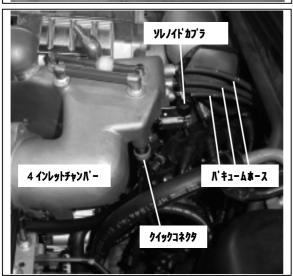
3インレットチャンバーに36ニップル1/8× 4を取り付ける。

シール剤もしくはシールテープを使用して 取り付けしてください。

スタンダードパワーエンジンの場合

3インレットチャンバーに51沈みプラグを取り付ける。

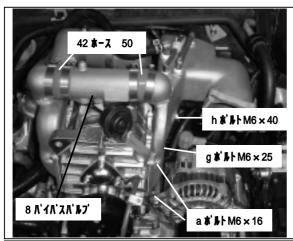




- (31) P14(5)で取り付けたソレノイドバルブA SSYのバキュームホース(3本)を**3**イン レットチャンバーのニップル1/8×4部 分に図のように配管する。
- (32) P18(12) で延長したソレノイドカプラー をソレノイドに取り付ける。
- (33) P12(23)で取り外したクイックコネクタ をワンタッチニップルに取り付ける。

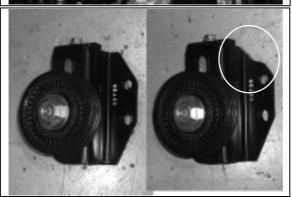
注意クイックコネクタはワンタッチニップルに対 し平行に差し込んでください。

カチッとロックがかかることを確認してくださ い。



(34)3インレットチャンバー、8バイパスバルブを9コンプレッサーガスケット、42ホース 50(2ヶ)、44ホースバンドM(4ヶ)、aボルトM6×16(4ヶ)、gボルトM6×25、hボルトM6×40で取り付ける。

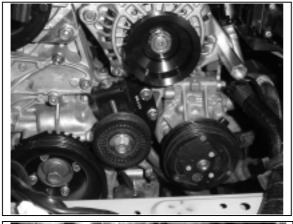
締め付けトルク 9.8N·m



(35) P11(19)で取り外したテンショナープー リーASSYの図で示している部分を削り 加工する。

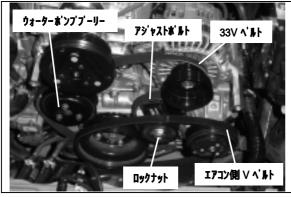
オルタネーター本体に接触しないように削り加工してください。

加工後は防錆処理(塗装など)を行ってください。



(36)テンショナープーリーASSYを純正ナット で取り付ける。

締め付けトルク 25.0N·m

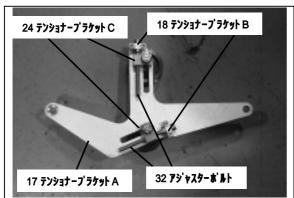


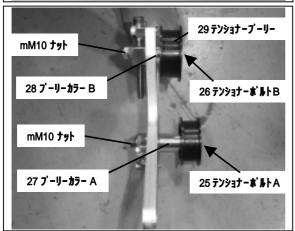
- (37)P10(15)で取り外したウォーターポンプ プーリーを純正ボルト(3ヶ)で仮付けす る。
- (38) **33** Vベルト5 P K 1010を図のように仮付けし、P10(12)で取り外したエアコン側Vベルトを取り付ける。
- (39)アジャストボルトを締め込んでベルトのた わみ量を調整しロックナットを締め付け る

締め付けトルク 45.0N·m

ベルトたわみ量(98N押付時)

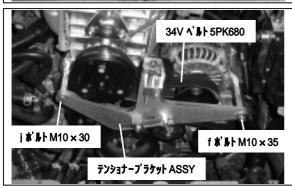
新品時(mm)	張直し時(mm)				
3.0~3.8	3 . 3 ~ 4 . 0				

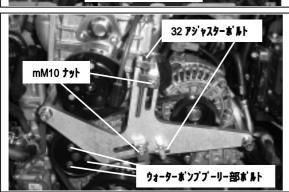




(40) 17テンショナーブラケットAに18テンショナーブラケットB(2ヶ)、24テンショナーブラケットC(2ヶ)、25テンショナーボルトA、26テンショナーボルトB、27プーリーカラーA、28プーリーカラーB、29テンショナープーリー(2ヶ)、32アジャスターボルト(2ヶ)をgボルトM6×25(4ヶ)、mM10ナット(2ヶ)で取り付ける。

締め付けトルク 10.0 N·m M10ナットは仮付けです。





(41) **34** Vベルト5 PK 6 8 0 を図のようにかけ、 テンショナーブラケットASSYをfボルトM 1 0 × 3 5、jボルトM 1 0 × 3 0 で取り付け る。

締め付けトルク 35.0N·m

(42)アジャスターボルトでベルトのたわみ量 を調整しM10ナットを締め付ける。 下側のテンショナープーリーからテンショ ンをかけてください。

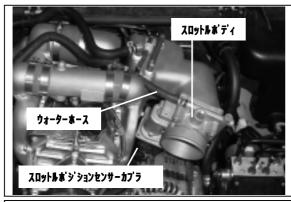
締め付けトルク 35.0N·m

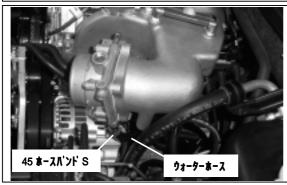
ベルトたわみ量(98N押付時)

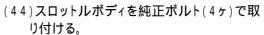
新品時(mm)	張直し時(mm)				
2.0~2.8	2.3~3.0				

(43)ウォーターポンププーリー部のボルト(3 ヶ)を本締めする。

締め付けトルク 10.0N·m





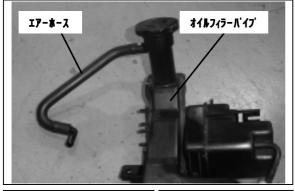


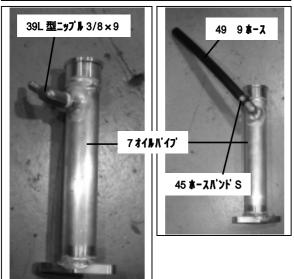
(45) ウォーターホース(2本)をスロットルボディに取り付ける。

延長したウォーターホース部には**45**ホースパンドSを使用してください。

延長したウォーターホースは適当な長さにカットしてください。

(46)スロットルポジションセンサーカプラーを 取り付ける。

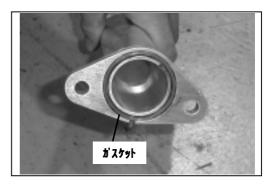


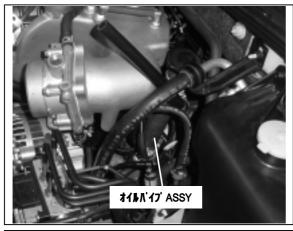


- (47) 純正オイルフィラーパイプよりエアホース、ガスケットを取り外す。
- (48)**7**オイルパイプに**39**L型ニップル3/8×9を取り付ける。

シール剤もしくはシールテープを使用して 取り付けしてください。

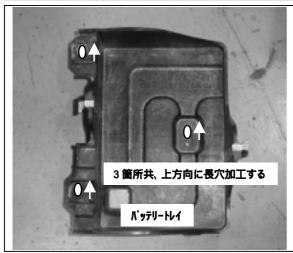
- (49)取り付けたニップル部分に**49** 9ホースを取り付ける。
 - **45**ホースバンドSを使用して取り付けして ください。
- (50)**7**オイルパイプにガスケットを取り付ける。



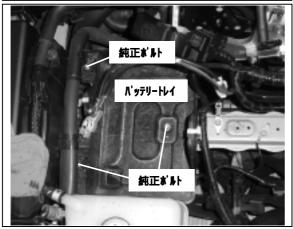


(51)オイルパイプASSYを純正ナット(2ヶ)で 取り付ける。

ニップル、 9ホースが周辺部品に干渉しないようニップルの角度を調整してください。



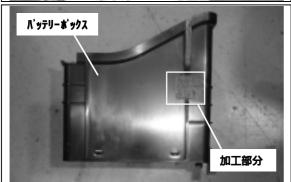
(52)バッテリートレイの穴(3箇所)を長穴加 工する。



(53) バッテリートレイを純正ボルト(3ヶ)で取り付ける。

締め付けトルク 10.0N·m

車両前方方向に寄せながら取り付けして 〈ださい。



(54)バッテリーボックスの図指示部分を削り加工する。

バッテリーボックスとコンプレッサー本体プーリーとのクリアランスを見ながら加工してください。



(55)エアクリーナートレイの下側に**35**エアクリーナーカラー(2ヶ)を挟み、iボルトM6 ×60(2ヶ)、nM6ワッシャー、純正ナット (2ヶ)で取り付ける。

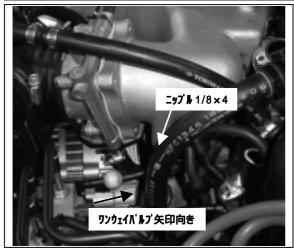
締め付けトルク 10.0N·m



(56)バッテリーボックス、バッテリーを元のように取り付ける。

締め付けトルク 10.0N·m

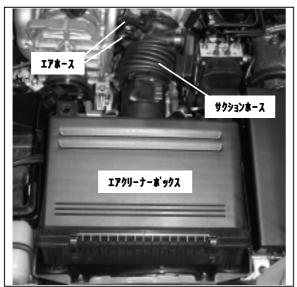
マイナス端子は取り付けないでください。

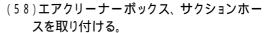


ハイパワーエンジンのみ

(57) P12(24)で取り外したエクステンションマニホールドよりワンウェイバルブをバキュームホースと一緒に取り外し、**3**インレットチャンバーのニップル1/8×4部分に取り付ける。

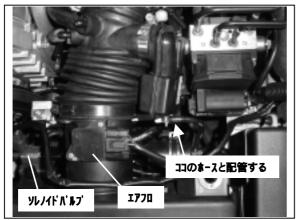
ワンウェイバルブの矢印の向きに注意して〈ださい。

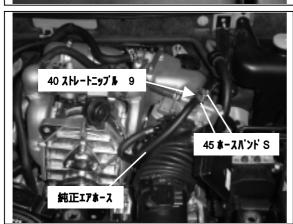




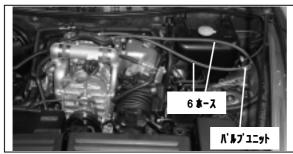
サクションホースは取り付け位置、角度を調整して取り付けしてください。

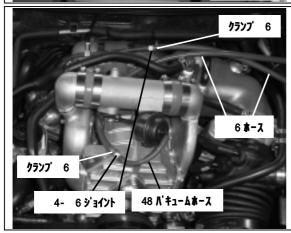
- (59)サクションホースに純正エアホース2本 を取り付ける。
- (60)エアフロカプラー、ソレノイドバルブカプラ ーを取り付ける。
- (61) P 2 8 (57) で取り付けたバキュームホースを図のホースと配管する。

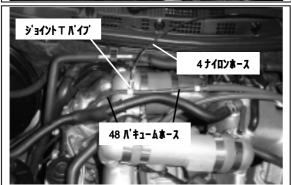


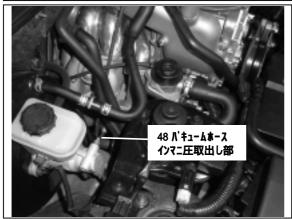


(62) P 2 6 (47) で取り外した純正エアホース を**40**ストレートニップル 9、**45**ホースバ ンドS(2ヶ)で取り付け、純正サクションホ ースに取り付ける。









(63)**59**DUAL - SBC specS取り付け DUAL - SBC付属の取扱説明書も良くお 読みになり取り付けしてください。

エンジンルームにバルブユニットを固定する。

バルブユニットを固定する場所により、ソレノイドバルブの作動音が室内に入り込んでしまう場合があります。

作動音が室内に入り込んでしまう場合はバルブユニットの取り付け位置を変更してください。

図を参考に付属の 6ホース、クランプ6用、 4- 6ジョイント、ジョイントTパイプ、 4ナイロンホース、48バキュームホースを使用しバルブユニットと各部分を配管する。

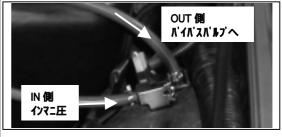
バルブユニットのIN、OUTには変換ゴムが付いていますのでそのまま 6ホースを差込みクランプ 6用で固定して〈ださい)。

インマニ圧は純正マニホールドのゴムキャップを取り外しバキュームホースを配管して ください。

注意バルブユニットへのホースの配管はINと OUTの区別があります。

> 間違いのないよう十分注意してください。 4ナイロンホースを室内に引き込む。 メインハーネスを室内よりエンジンルーム 内に引き込む。

> エンジンルーム内に引き込んだメインハーネスのコネクタをバルブユニットに接続する。



室内作業

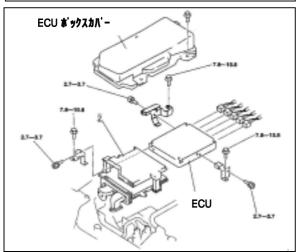
メインハーネスのコネクタから出ている赤色線をIGN - ON時に + 12 V出力する場所へ接続し、黒色線をボディアースへ接続する。

エンジンルームより引き込んだ 4ナイロンホースをホースジョイント 4用を使用してコントローラーに接続する。

メインハーネスとコントローラーを接続する。



(64)エンジンルーム内のECUボックスカバー を取り外す。



(65)ECUカプラーを外し、ECUを取り外す。

(66)P31、P32の配線図に従い、**54**電磁ク ラッチ用スイッチ、55電磁クラッチ用ハー ネス、57回転信号アダプター、58フュー エルコントローラーの各線を配線する。 付属のエレクトロタップ、ギボシセットもしく

はハンダ付けにて配線を行ってください。

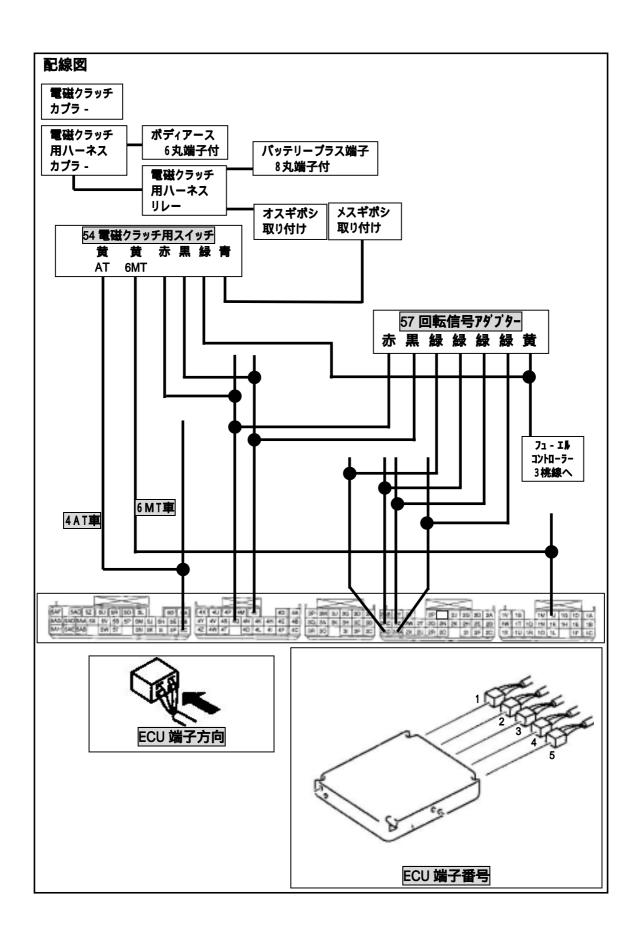
注意配線位置を間違えないよう十分注意して 作業してください。

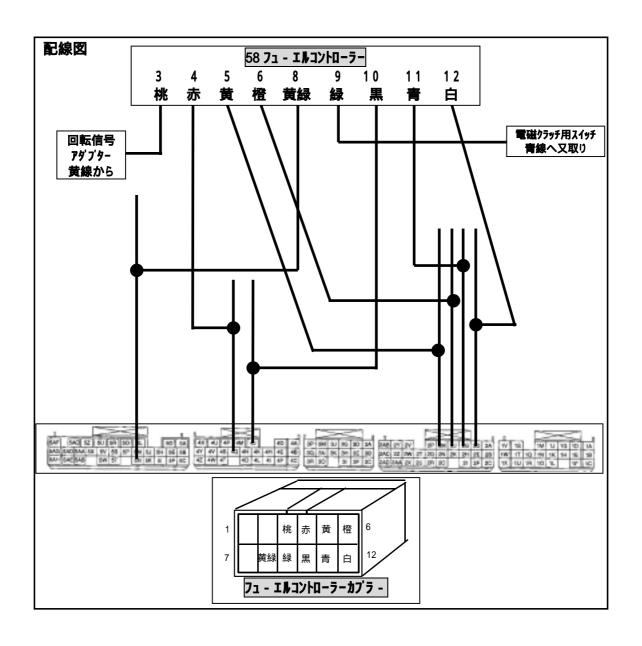
> 配線位置を間違えると各部品が正常に作 動せず、エンジン不調や破損の原因にな る場合があります。

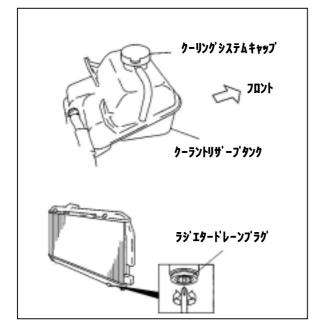
注意配線の断線、接触不良等がないよう十分 注意して作業してください。

> 断線や接触不良があると各部品が正常 に作動せず、エンジン不調や破損の原因 になる場合があります。

57回転信号アダプター、58フューエルコン トローラーはECUボックス内に収納してくだ さい。







(67)冷却水補充作業

電磁クラッチ部分のカプラーを取り外す。 バッテリーマイナス端子を取り付ける。 ラジエタードレンプラグが締まっている事 を確認する。

冷却水をクーラントリザーブタンクのFUL Lレベルまで注入する。

クーリングシステムキャップを取り付ける。 エンジンを始動し、アイドリング状態で暖気する。

注意

水温計が上がりすぎる場合はオーバーヒート させないためにエンジンを停止して水温を下げる

エンジン暖気後次の作業をおこなう。

- a エンジン回転数を5分間、約2500rpmに 保つ。
- b エンジン回転数を5分間、約3000rpmに 保ち、アイドリングに戻す。
 - これを4 5回繰り返す。

エンジンを停止し、冷却水の温度が下がるのを待ち、冷却水量を点検する。

冷却水が少な〈なっている場合は、 の作業を繰り返しおこなう。

各部に水漏れがないか確認する。

注意 エンジン始動時には下記項目を確認してください。

エンジン始動前の確認

パイプ、ホース等配管及び配線に間違いがないか確認してください。

ボルト、ナット類の締め忘れがないか確認してください。

ガソリンはハイオクガソリンが入っているか確認してください。

エンジン始動後の確認

コンプレッサーから異音等がないか確認してください。

軽く空ぶかしをおこない、Vベルト、コンプレッサー等に異常がないか確認してください。(ベルトのスリップ、歯とび)

冷却水、燃料、オイル等の漏れがないか確認してください。

(68)エンジンコンピューターの燃料学習作業

エンジンを始動し、アイドリング状態で暖気する。

全ての電気負荷をOFFにする。

エンジン回転数を2500-3500rpmに保ち、15秒以上維持する。

続けてエンジン回転数を4500-5000rpmに保ち、15秒以上維持する。

その後、クーリングファンが止まるまでアイドリングする。

クーリングファンが止まった後、60秒以上アイドリングする。

(69)電磁クラッチおよびフュ・エルコントローラー作動点検

注意 DUAL - SBC付属の取扱説明書を良くお読みになってから作業してください。

エンジンを始動し、DUAL - SBCをOFFモードに設定する。

アクセルペダルを踏み込み電磁クラッチがONになる事を確認する。

同じようにアクセルペダルを踏み込み電磁クラッチがON状態の時に、フューエルコントローラ ー側面の赤LEDが点灯する事を確認する。

電磁クラッチは6MT車両はアクセル開度約30~40%でONになります。 4 A T車両はアクセル開度約40~50%でONになります。 フューエルコントローラーは電磁クラッチがONの時のみ作動します。 DUAL - SBCは必ずOFF状態で点検作業を行ってください。

(70)エンジンルーム内のECUボックスカバーを純正ボルトで取り付ける。

(71)ブースト設定

注意 DUAL - SBC付属の取扱説明書を良くお読みになってから作業してください。 GAIN値の調整

- a DUAL SBCをGAIN調整モードにする。
- b GAIN値を0に設定する。
 - ブースト圧の設定
- a DUAL SBCをブースト圧設定モードにする。
- b ポイント値を30に設定する。
- c アクセル開度100%でエンジン回転数3000rpm~5000rpm間のブースト圧が
 - 0.37~0.42hkPaになるようポイント値を調整する。

エンジン回転数によりブースト圧は多少変化します。

アクセルを踏み込んだ瞬間は一瞬ブースト圧が上がります。

安定したブースト圧が上記の範囲に入るよう調整してください。

弊社テスト車両ではポイント値は34に設定しています。

ブースト圧の設定は十分注意して行ってください。

ブースト圧が上がりすぎないよう十分注意して設定を行ってください。

ブースト圧は規定値以上には絶対に上げないでください。

ブースト圧を上げすぎるとエンジン不調や破損の原因になります。

以上で、本キットの取り付けは終了です

[6]エンジンオイルフィルター交換時

・エンジンオイルフィルターを交換する際は7オイルパイプを取り外してからオイルフィルターを交換して ください。

[7]メンテナンス

快適に運転していただく為、お車を運転する前には必ず日常点検を行ってください。 尚、本キットを取り付けた後に維持、管理する項目については必ず実施してください。 コンプレッサーキット装着時の維持、管理項目

- ・ エンジンオイルの定期的な交換(推奨 3000Km以内で交換)
- エンジンオイルフィルターの定期的な交換(推奨 6000Km以内で交換)
- ・ オートマチックミッションオイルの定期的な交換(推奨 10000Km以内で交換)
- ハイオクガソリンの使用(レギュラーガソリンは絶対に使用しないでください)

キットには専用ハイオクステッカーを付属しています。給油口内側に貼り付ける事をお勧め します。

Vベルトのメンテナンスについて

本コンプレッサーキットでは、Vベルトを利用しコンプレッサーを回転させ、過給を発生させています。定期的にVベルトの点検を行ってください。

- · Vベルトの点検・張りの調整 推奨10000kmで点検
- ・ Vベルトの交換 Vベルトの交換サイクルは車両の状態・運転の状況により異なります。Vベルトにヒビ、亀裂、歯とび等の劣化が確認された場合には交換をお勧めします。 Vベルトの点検・張りの調整を行わない場合、Vベルトがスリップしてしまう事があります。Vベルトがスリップしている状態ではコンプレッサー本来の性能を発揮できない場合があります。

[8]推奨パーツ

専用Vベルト(5PK1010)
専用Vベルト(5PK680)
コードNo.10151 - 026
コードNo.10151 - 027

[9]注意事項

- ・ 純正交換タイプ以外のエアクリーナーの装着は絶対に行わないでください。 (剥き出しタイプのエアクリーナーの装着を行うと燃調が変わってしまい、最悪の場合エンジン破損の原因になります。)
- ・ 本キットに付属しているもの以外の電子製品(エアフロコントローラーや燃料の増減 のできるような物等)の装着は絶対に行わないでください。
- ・ ブースト圧の設定は慎重に行ってください。
- · ブースト圧は規定値以上には絶対に上げないでください。
- ・ コンプレッサーブーリー、Vベルト等回転部分に衣類、手、髪の毛等を巻き込まれないよう十分注意してください。

キットにはCAUTIONステッカーを付属しています。コンプレッサープーリー近辺に貼り付けてください。

- ・ 本キットを取り付けた際にはボンネットインシュレーターの一部とキット部品(アウトレットチャンパー)が若干、干渉してしまう場合があります。
- ・ ボンネット本体とは干渉・接触はしませんが気になる場合はボンネットインシュレーターの加工もしくは取り外しをおこなってください。

製品についてのご相談先

製品についてのお問い合わせは、お電話またはFAXにて下記宛てにお願いします。

連絡先 (株)プリッツ TEL 0566-79-2200 住所 愛知県安城市高棚町大道40-1 FAX 0566-79-2070

> 製造 · 発売元 株式会社 ブリッツ 取扱説明書番号 10151004 初版作製年月日 2004.7.1

BLITZ